

田中周彫刻記

でんちゅうちようこくき

おかくらてんしん りそ
第六話 ~岡倉天心の理想~

Takashi
作 ©いとうたかし



さて、
「活人箭」だが…



てんかいかいひまる
展示会の日の夜…

倅太郎は
岡倉天心の家に
呼ばれました。
天心は
ビールを
飲みながら、
奥さんたちと
談笑して
いました。

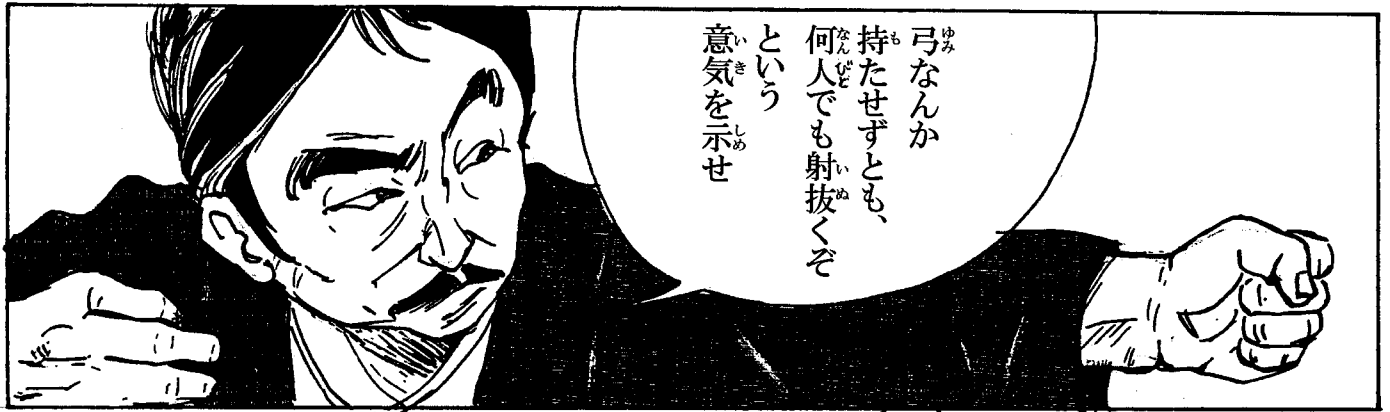


ゆみや
弓矢はいらぬ、
ただのポーズだけで
よろしい

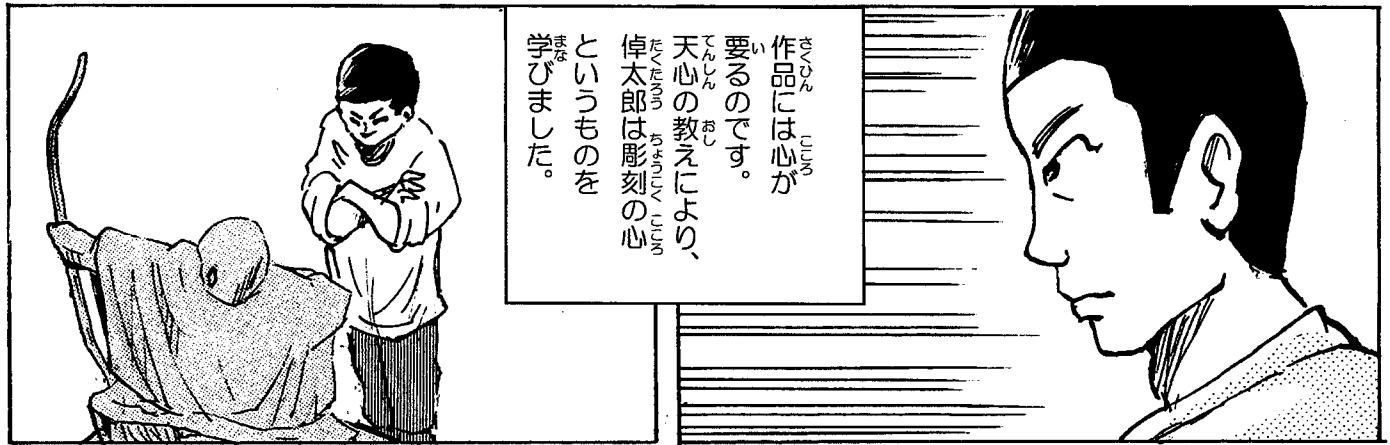


なぜあれに
弓を持たせたのだ

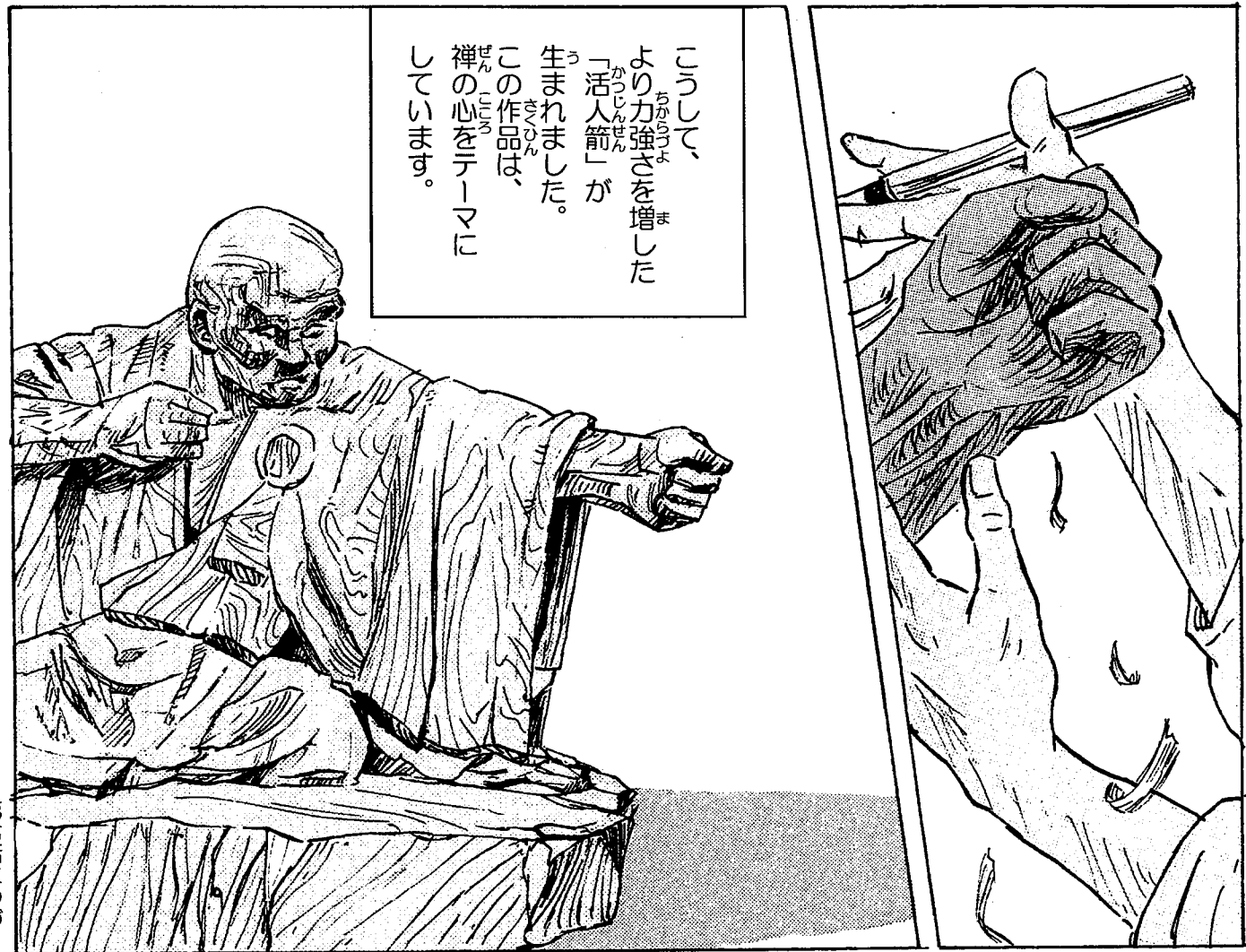
あんなことでは
死んだ豚も
射られまい…



弓ゆみなんか
持もたせせずとも、
何人なんびとでも射い抜ぬくぞ
といいう
意い気きをしめ
せ



作さく品ひんには心こころが
要いるるののです。
天てん心しんの教おしえにより、
倬たく太た郎らうは彫ひ刻こくの心こころ
といいうものものを
学まなびました。



ここううしして、
よより力ちから強つよさを増ました
「活かつ人じん箭せん」が
生うままれれました。
ここの作さく品ひんは、
禅ぜんの心こころをてままに
ししていまます。